



カヌー遊びやじゃがいも掘り、パークゴルフで楽しみました

第十二回ふるさとフレンドリーツアーのため、香川県財田町の小学六年生三十二名と引率三名を含む、総勢三十五名の皆さんが、七月二十九日から八月一日までの日程で来村されました。

フレンドリーツアーの一行は、二泊を村内家庭に民泊しながら、村内の六年生児童たちとの交流や施設の見学などで、有意義に過ごされました。

一行が来村した時は、あいにくの雨模様でしたが、翌日には雨も上がり、洞爺湖周辺の施設見学や、パークゴルフ交流、カヌー遊び、じゃがいも掘り体験など、日頃できない体験をしたり、七月三十日夜には、民泊家庭の協力により、洞爺夏まつりを楽しんだり、洞爺村の思いでをたくさん作っていました。

洞爺夏まつり

多彩に開催



有志により、差し上げられた「ちょうさ」

洞爺村商工会・洞爺観光協会主催の洞爺夏まつりが、七月三十日洞爺水の駅ふれあい中央広場などを会場として行われました。

午前九時半、可愛らしく化粧した稚児行列に始まり、十時からは浮見堂公園で、聖徳太子祭が行われました。

夕方からは、広場に生ビールや焼きそばなどの屋台が並び、バンド演奏が繰り広げられました。今年も、洞爺中学校吹奏楽部の見事な演奏が加わり、村民や観光客の皆さんの大きな拍手を浴びました。

午後七時からは、恒例の山車や「かつぐ会」のちょうさ、「むらびと踊る社中」のよさこいソーランなどのパレードで、

一層盛り上がり、初めて子供山車が用意され、保育所幼児も練り歩きました。

財田町の皆さんも、役場での歓迎式後に夏まつり会場に入り、財田町から贈られたちょうさや鮮やかに描かれた山



きれいに化粧をしてもらい市街地を練り歩く

車などに盛んに拍手を送っていました。

最後は恒例の盛大な花火が、真夏の洞爺村の夜空を染め、集まった人々の目を楽しませました。



保育所幼児も練り歩いて花をそえる



洞爺中学校による吹奏楽の演奏

姉妹町村三十周年記念事業

財田町民が夏まつりに来村



ツアーで訪れた財田町の皆さん



記念品目録を交換する
近藤町長と菊地村長

香川県財田町民ツアーの四十九名の皆さんが、七月三十日の洞爺夏まつりに合わせて来村されました。

当日は、旧三樹園庭園内の大久保謙之丞翁の胸像前で記念撮影後、役場での歓迎式に臨みました。役場では村内の関係団体代表との懇親会に先立ち、姉妹町村盟約三十周年にあたり記念品を相互に贈るため、近藤財田町長と菊地村長が、目録（財田町より、記念樹（百日紅）一式、洞爺村よりパークゴルフ一式等）を交換し、今後も相互交流を進めることを確認しました。

歓迎会及び懇親会後に、財田町の皆さんは、洞爺夏まつり会場に移動し、財田町から贈られたちようさや山車、よさこいソーランのパレード、花火などを楽しまれました。

洞爺再発見！

特色ある教育活動

七月十五日、洞爺小学校の全校生徒、教諭の計六十五名が中島に渡り、体験学習が行われました。

この授業は、村の「特色

ある教育活動」事業の一環として、「中島を探検し、洞爺村を見つめ直す」と、中島の洞爺村エリア（西山、北側湖岸など）で野性味あふれる自然や、村の未知なる環境を体験し、新たな視

点で地域をとらえ、自然や環境についての考えを深めたり、広げたりすることをねらいとして行われました。

中島では、洞爺ガイドセンターのガイドによる、洞爺湖、中島の成り立ちや、エゾ鹿と自然との関わり、樹木などの説明を受けながら、探検を楽しみました。



高速艇に乗り込み、いざ中島へ！



中島北側湖畔でガイドさんの説明を聞く

大賞にルーマニアのキフ・パネッテさんの 「TRAVELLER WORLD」

洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005



真剣な眼差しで審査を行う

今年で第七回目の開催となる洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005の第二次審査会が、七月二十六日、総合センターで行われ、大賞、準大賞、優秀賞がそれぞれ一点、今回から新設の伊達信用金庫賞一点が選ばれました。

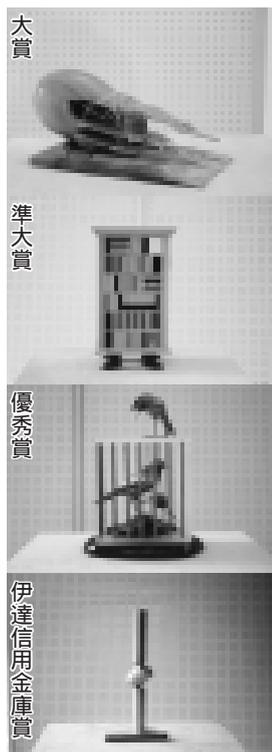
なお、展覧会は、九月二十三日から十月二十三日まで総合センターで開かれます。

受賞作品は下記のとおりです。

(詳しい紹介は、次号の広報に掲載します)

受賞作品一覧

	作家名	国名	作品名
大賞	キフ パネッテ	ルーマニア	TRAVELLER WORLD (旅人たちの世界)
準大賞	瀧川 比呂史	日本	Personal Library
優秀賞	キティチャロエンウワット アリヤ	タイ	“FLYING IN THE BOX” (かごの中の鳥)
伊達信用金庫賞	松本 薫	日本	Cycle-90° 「風の予感」



大賞

準大賞

優秀賞

伊達信用金庫賞

五月二十四日、東京都で行われた第一次審査会で二十ヶ国、六十点の作品が選ばれました。

第二次審査会の会場である総合センターには、これら六十点の作品、全てが揃い、審査委員長の笹野尚明北海道美術館学芸員研究協議会会長・前札幌芸術の森美術館館長をはじめ五氏が慎重かつ厳正に審査を行いました。

今回の審査は、ビエンナーレに関する村民理解向上の一環として公開審査を行い、村民約三十名は、段階的に厳選されていく審査の行方を、固唾を呑んで見守りました。公開審査の説明で、笹野審査委員長は、「一回目で選ばれた作品で高得点だからといって大賞に選ばれるとは限りません。

段階的に進んでいく審査の中で、われわれも修正を行っていくのです。」と審査の難しさについて話されました。

審査後の総評では、「ビエンナーレも回を重ね、出品作品の質も知名度も上がってきた。一時は、九百点近くあった応募作品も、ちょうど良い六百点と落ちてきたようです。また、受賞作品以外にも、良い作品がたくさんあります。」と作品の傾向の変化を話していました。

また、ビエンナーレを発案された故藤本雅俊元村長の遺徳を讃えて設けられた『F氏賞』については、八月一日から三日までの三日間、村民投票が行われ、受賞作品が決定します。



こんな事業に 取り組んでいます

産業建設課

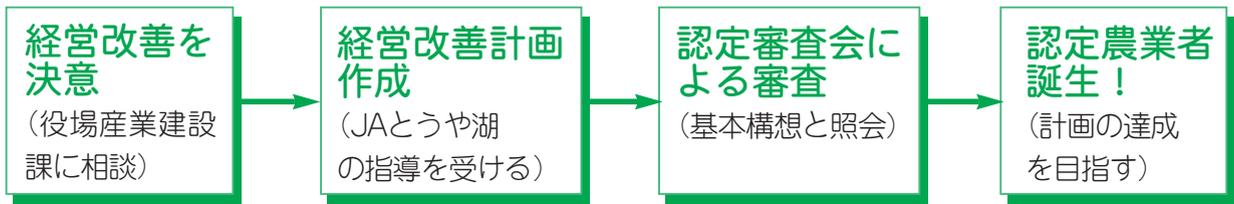
認定農業者になるための申請手続きについて

広報7月号に掲載した「認定農業者制度の活用に向けた取り組みについて」に引き続き、今月号では、認定までの流れについてお知らせいたします。

◇認定農業者になるためには

認定農業者となるためには、今後5年間を見通して自分の農業経営をどういう方向に改善・発展させていくのか、それをどのような方法で実現していくのかについて、具体的な経営プラン（農業経営改善計画）を作成し、市町村の認定を受ける必要があります。

☆認定までの流れ



本村の認定基準は、

- ①計画に記載された目標が、洞爺村が定める「洞爺村農業経営基盤強化促進基本構想」の経営指標の水準以上である（農業所得の向上、労働時間の短縮などが目標となります。）
 - ②目標を達成することが確実であると見込まれる（現在の経営は小さくても目標の達成が見込まれる場合は認定の対象となります。）
 - ③農用地の効率的・総合的な利用を図る内容となっている
- 等が要件となっていますが、経営の現状だけを問うのではなく、将来の経営発展の可能性やブ
口の農業者としてやっていこうとする意欲を勘案して、農業経営改善計画の審査を行います。

認定農業者を目指されている農業者の方は、役場産業建設課産業係までご連絡ください。村では一人でも多くの農業者の皆さんが認定農業者制度を利用できるよう、相談をお受けいたしますのでお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先
洞爺村役場産業建設課産業係 ☎82-5111

農業委員会委員決まる

会長に小林和幸さんを選出



原田尚一さん(44)
成香



西岡健市さん(58)
成香



大西 智さん(46)
大原



宮内昭夫さん(49)
財田



野田義視さん(58)
旭浦



京谷常美さん(56)
美沢西



毛利 衛さん(45)
香川



西山寛幸さん(56)
川東



丸田健次郎さん(64)
成香



佐伯義視さん(67)
美沢東



小林和幸さん(71)
成香

■選挙当選委員(届出順)

七月十九日で任期満了となる農業委員会委員選挙は、七月五日告示され、立候補の受付が行われましたが、定数の八名を超える届出がなかったことから、無競争で当選が決まりました。

か、議会、とうや湖農協、いぶり農業共済組合から推薦を受けた委員によって構成され、委員の任期は通常三年となっていますが、今回は町村合併に伴い来年の三月二十六日までが任期となります。

同委員会は、農用地の確保とその有効利用、農業担い手の育成、農村の活性化などの活動を行っており、農業者の直接選挙で選ばれる委員のほ

また、改選後初の農業委員会が七月二十七日に開かれ、会長に小林和幸さん、職務代理者に京谷常美さんがそれぞれ選出されました。

■いぶり農業共済組合 推薦委員

■とうや湖農業協同組合 推薦委員

■議会推薦委員

トムさん・カイルさん一年間ありがとうございました。

昨年九月より、第十四次英国ボランティア青年として、来村していただいたトム・ヒューズさんカイル・ウィットインントンさんの二人が、一年間の活動を終え、七月三十一日、八月二日に、それぞれ帰国しました。

お二人に洞爺村での思い出などを聞いてみました。

洞爺村での思い出は？

(トムさん)

初めて洞爺に訪れた時、とても小さく見え、しかもスターバックス（コーヒー店）がなかったけれど、とても美しく穏やかな場所でした。この一年、洞爺は私の我が家となりました。ここを離れ、別れることになり、とても残念に思います。

(カイルさん)

洞爺村は美しく特別な場所です。洞爺の皆さんは、とても親切で手助けしてくれました。

帰国後の夢は？

(トムさん)

将来日本に戻るため、日本語を一生懸命勉強し、大学で勉学に励むこと。フィッシュ&チップスを食べるためにも！

(カイルさん)

どんなに洞爺村が素晴らしいかということはずっと忘れません。

最後に洞爺村の皆さんに一言

(トムさん)

この一年を通して親切にしてくれたこと、洞爺の生活に慣れるため、がまんと思いやりを見せてくれたこと、皆さんの友情に、すべてに感謝します。

(カイルさん)

洞爺に戻ってくることに。

※フィッシュ&チップス「フライ」のファースト・フード（魚のフライと棒状のポテトフライ）。イギリス料理のため冗談か、料理教室でよく作っていたそうなので、そのことを指しているのかもしれませんが。

総合センターに自治会活動振興用備品を整備

平成十七年度コミュニティ助成事業

村では、自治総合センターのコミュニティ助成事業の支援を受け、総合センターに自治会等のコミュニティ組織活動支援のためのイス・テーブル・チェアポーターを整備しました。

この助成事業は、同センターが全国自治宝くじ普及広報村では、事業費として受け入れる宝くじ受託収入を財源として運営され、住民の皆様のコミュニティ活動を推進するとともに、宝くじの普及広報を目的に行われているものです。

今後、住民の皆様のコミュニティ活動に積極的に活用ください。



整備された、イスと机



離村式に駆けつけた子ども達との別れを惜しむ

みんなでミニバレー

集合学習

七月七日、洞爺小学校体育館で、村内四小学校と花和小学校の五・六年生、計三十六名による集合学習が行われました。

この授業は、洞爺村複式教育研究会の行事として、「同世代の児童が少ない環境のため、多人数で行う球技がなかなかできない。そこで、集合学習での球技を扱い、多人数でゲームをすることの楽しさに触



上手にレシーブできたかな

れさせ、協力、創意工夫しながら楽しくゲームを行うことを学ばせたい。」という考えで実施されました。

この日、行われたミニバレーは、六名ずつ六チームに別れ、ルールの確認、練習のあと作戦会議を行い、実際にゲームに取り組みました。児童たちは、多人数での体育授業を楽しんでいました。

また、一・二年生は、伊達海洋センター、果樹園での体験学習、三・四年生は別日程で集合学習が行われました。

雨の中フットベースボール競技

北海道障害者スポーツ大会洞爺村大会

第四十三回北海道障害者スポーツ大会の各競技が七月十日、西胆振八市町村で行われ、洞爺村では、水辺の里・財田キャンプ場運動広場での知的障害者によるフットベースボール競技が、栗山町「ハローENJOY栗山」の打守(ダ

ツシユ)、標茶町「しべちャコスモス」の川上ストライカーズ、二チームの試合と洞爺村選抜の洞爺村野球スポーツ少年団・役場職員との親善試合が行われました。

この日は、曇り空で途中から雨模様となりましたが、むらびと踊る社中の皆さんによる演舞も披露され、出場者を元気づけました。

一試合目に行われた、打守川上ストライカーズの試合では、選手、監督ともに気合が入り、一触即発?しそうな



雨の中、メダルをかけてもらう選手たち

シーンもありましたが、ランニングホームランやダブルプレーなどのファインプレーに歓声が沸きあがっていました。また、親善試合では、役場職員との試合でボールと一緒に靴を飛ばしてしまうなどの珍プレーや、野球スポーツ少年団の子どもたちとの試合を楽しんでいる様子でした。

夏の湖を満喫

レークススポーツ教室

七月十六日(土) 恒例のレークススポーツ教室が、洞爺湖畔で村教育委員会が主催して行われました。

当日は、天候に恵まれ、子ども三十二名、大人十五名が湖でのスポーツを楽しみました。

九時三十分に集合しライフジャケットをつけて、カヌーを湖畔に運ぶことから始まり、初心者にはカヌーのパドルの使い方をレークススポーツ協会の方に習い、早速、湖に漕ぎ出しました。

そのほか、バナナボートに乗ったり、船で中島に行ったり、昼食も湖畔でのジンギスカンなどで舌つづみを打ちました。

午後には、消防署の方による救命教室も行われ、午後二時三十分まで盛りだくさんの一日を楽しみました。また、虻田町からも参加者があり、自然の残る湖畔でのカヌーなどを満喫していました。



救命方法に見入るレークススポーツ教室の参加者

交通安全を呼びかけ

旗の波運動

七月八日、農協スタンド横交差点で、交通安全を呼びかける、「旗の波運動」が行われました。

この日は、前日までの雨も上がり晴天に恵まれた中、村内の各事業所の従業員、役員職員、また、洞爺高校の生徒洞爺小学校の児童や洞爺保育所の子どもら約百名が参加し、交通安全の黄色い旗を振って、道行くドライバーや歩



みんなで交通安全を呼びかけました

行者などに交通安全を呼びかけました。

その中でも、洞爺小学校の児童や洞爺保育所の子どもたちは、目の前を車が通るたびに「安全運転をお願いします」と大きな声で呼びかけていました。

コスチュームショーに歓声

洞爺高等学校祭

第五十二回洞爺高等学校祭が、七月二十四日一般公開されました。



コスチュームショーでエプロンを披露

授業で数ヶ月をかけたドレスや甚平、ショートパンツなどの展示をはじめお茶、食堂、地元野菜市などでそれぞれの生徒や先生が、保護者や地域住民に應對して、学校祭を盛り上げていました。

生徒が自ら衣装を着て登場するコスチュームショーでは、大勢の保護者や地域の皆さんが、照明に浮かび上がるドレスや各種衣装に歓声と惜しみない拍手を送っていました。

体験試乗を楽しむ

カヌーフェスティバル

七月三十一日、第七回とうやカヌーフェスティバル(洞爺レークスポーツ協会主催)が、洞爺湖畔で開催されました。

同協会では、手作りカヌー工房で自作した人のほか、キャンプやドライブで訪れる人にも、カヌーや湖の楽しさを知ってもらおうと、毎年実施しています。

カヌー体験試乗の希望者と同協会員が、パドルの握りや



体験試乗する親子

漕ぎ方を、分かりやすく手ほどきし、参加者は湖上を滑るカヌーを満喫していました。

ホテル探検隊

キッズベンチャー&生涯学習セミナー

七月八日、十八時四十五分にホテル探検隊の参加者(児童二十六名、大人九名)が総合センターに集合しました。

講師は伊達市教育委員会社会教育主事の飯塚淳一氏で、ホテルの標本やスライドを使ってわかりやすくホテルの生

態について説明していただきました。

事前学習終了後、バスで留寿都村黒田の坂庭さん宅へ到着後、ホテルに住む池へ(坂庭さん宅では十年ほど前、専門家の指導を受けて池を作り、平家ホテルを放しています)、ここ数日寒い日が続いたので、昨年ほどは確認できませんでしたが、六匹ほど草むらの中で光る姿がみられ、参加者の方々からは感嘆の声が聞かれました。

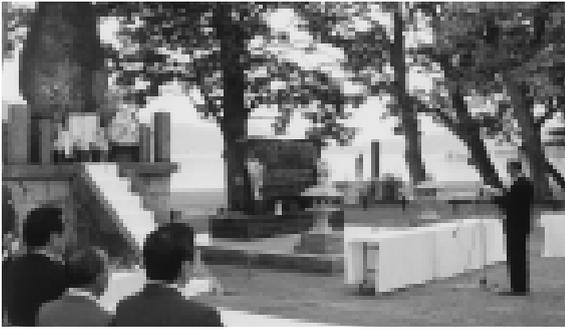


スライドや道具を使い、ホテルの生態を説明

戦後六十年

戦没者追悼式

七月二十日、小公園の忠魂碑前で、洞爺村戦没者追悼式が厳かに執り行われました。今年、戦後六十年の節目でもあり、村として最後の追悼式となりましたが、遺族会の方や議会議員、各自治会長等、多くの方が出席し、戦争で亡くなられた方に、それぞれの思いを込め、祈りを捧げていました。



追悼の言葉を述べる、遺族会会長の鈴木孝さん

式は、出席者一同の黙禱に始まり、村長の式辞の後、追悼の言葉を北海道知事高橋はるみ様、洞爺村遺族会会長鈴木孝様よりいただきました。その後、一人ひとり献花が行われ祈りを捧げ式は終了しました。

現在、戦争の記憶が薄れていくなか、六十年前の悲劇が再び起こらないよう、また、戦争やテロ等が起こらない世の中になるよう、皆さんも家族の方と一緒に考えてみてはどうでしょうか。

洞爺消防団が、北海道消防操法訓練大会に出場

七月二十一日に、平成十七年度北海道消防操法訓練大会が、江別市の北海道消防学校で開催され、洞爺消防団が胆振地区の代表として二度目の出場を果たしました。

消防操法大会は、それぞれの仕事のかたわら「自分たちの地域は、自分たちで守る」

という精神のもと、日夜地域の消防活動に従事している消防団員が、消防操法技術の向上と士気高揚を図ることにより、地域防災体制の強化に役立てることを目的として行われているもので、ポンプ車操法の部（七チーム）、小型ポンプ操法の部（八チーム）で消防操法の審査が行われました。今回、洞爺消防団は「小型ポンプ操法」の部に出場し、村から駆けつけた消防団員やOBの皆さんの声援を受け、日ごろの訓練の成果を発表しました。



今までの、練習成果を見せる団員たち

成績

よくがんばりました

中体連胆振西部地区大会

中体連胆振西部地区大会のソフトテニス・剣道で四地区大会出場を果たしました。

【剣道】

六月二十五日（長和中学校）

女子個人戦

稲實亜利沙（三年） 三位

【ソフトテニス】

六月二十一・二十二日

（長和北電コート）

男子団体戦

準優勝

ペア不足のため四地区大会は不参加

男子個人戦

富田翔・大畑卓也ペア

準優勝

女子団体戦

女子個人戦

星渚紗・村上欄ペア 三位

準優勝

中体連胆振四地区大会

惜しくも全道大会出場とはなりませんでした。

【ソフトテニス】

七月九日（室蘭高砂コート）

女子団体戦

準優勝

平成十七年度胆振管内スポーツフェスタ

平成十七年度胆振管内スポーツフェスタが七月三日、室蘭市で行われ、洞爺村卓球協会の選手、男女十名が出場し、Bブロック決勝リーグで、優勝（三〇）しました。

誕生

おめでとーございます

木村 凌りょうや也くん

父 慎しん一さん

母 有希ゆきさん

7月13日生まれ 長男 3町内

おくやみ

申し上げます

星川 菊子きくこさん

7月8日死去 88歳 曙